

—— 正弦定理の応用 (辺と角の大小関係) ——

$\triangle ABC$ において, $A < B < C$ ならば $a < b < c$ である。

また, 逆も成り立つ。

(三角形と三角関数)

【証明】

$A < B < C$ と仮定する。

(i) $A < B < C \leq 90^\circ$ のときは,

正弦の値は角度が大きいほど大きいので $\sin A < \sin B < \sin C$

(ii) $A < B < 90^\circ < C$ のときは, $B < A + B = 180^\circ - C < 90^\circ$ であるから

$\sin A < \sin B < \sin(A + B) = \sin C$

したがって, いずれの場合でも $\sin A < \sin B < \sin C$

よって正弦定理から $a < b < c$

逆に $a < b < c$ と仮定する。

このとき正弦定理から $\sin A < \sin B < \sin C$

(i)' A, B, C のいずれも 90° より大きくないときは, 明らかに $A < B < C$

(ii)' A, B, C のうちの 1 つ (例えば C) が 90° より大きいときは,

$C = 180^\circ - (A + B) > 90^\circ$ から $0^\circ < A + B < 90^\circ$ ゆえに $A < 90^\circ, B < 90^\circ$

よって $\sin A < \sin B$ から $A < B$ また, $B < 90^\circ < C$ よって $A < B < C$

したがって, いずれの場合でも $A < B < C$

——— 正弦定理の応用 (辺と角の大小関係) ———

$\triangle ABC$ において、 $A \leq B \leq C$ ならば $a \leq b \leq c$ である。

また、逆も成り立つ。

(三角形と 三角関数)

【証明】

$A \leq B \leq C$ と仮定する。

(i) $A \leq B \leq C < \frac{\pi}{2}$ のときは、

正弦の値は角度が大きいほど大きいので $\sin A \leq \sin B \leq \sin C$

(ii) $A \leq B < C = \frac{\pi}{2}$ のときは、 $\sin A \leq \sin B < \sin C$

(iii) $A \leq B < C$ で $\frac{\pi}{2} < C < \pi$ のときは、 $A + B = \pi - C < \frac{\pi}{2}$ であるから

$\sin A \leq \sin B < \sin(A + B) = \sin C$

したがって、いずれの場合でも $\sin A \leq \sin B \leq \sin C$

よって正弦定理から $a \leq b \leq c$

逆に $a \leq b \leq c$ と仮定する。このとき正弦定理から $\sin A \leq \sin B \leq \sin C$

よって

(i)' A, B, C のいずれも $\frac{\pi}{2}$ より大きくないときは、明らかに $A \leq B \leq C$

(ii)' A, B, C のうちの 1 つ (例えば C) が $\frac{\pi}{2}$ より大きいときは、

$C = \pi - (A + B) > \frac{\pi}{2}$ から $0 < A + B < \frac{\pi}{2}$ ゆえに $A < \frac{\pi}{2}$, $B < \frac{\pi}{2}$

よって $\sin A \leq \sin B$ から $A \leq B$

また、 $B < \frac{\pi}{2} < C$ よって $A \leq B < C$

したがって、いずれの場合でも $A \leq B \leq C$